

製品名: FGFR4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80723**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	87.9kDa

抗原情報

遺伝子名	FGFR4
別名	TKF; JTK2; CD334
遺伝子 ID	2264.0
SwissProt ID	P22455
免疫原	HEK293 細胞株で発現した hlgGfc タグと融合したヒト FGFR4 の精製された組み換え細胞外フラグメント。

背景

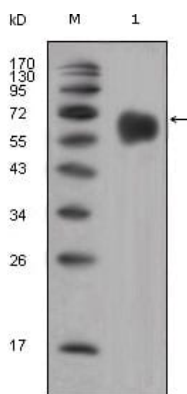
FGFR4: 線維芽細胞増殖因子受容体 4。Entrez Protein NP_002002。線維芽細胞増殖因子受容体ファミリーのメンバーであり、アミ

ノ酸配列はメンバー間および進化を通じて高度に保存されています。FGFRファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。全長の代表的なタンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されます。このタンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流のシグナル伝達経路を活性化させ、最終的には有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。この遺伝子のゲノム構成は、メンバー1~3と比較して、19または20個のエクソンではなく18個です。選択的スプライシングが観察されているものの、このタンパク質のIgIIIドメインのC末端側が、メンバー1~3で示されているように3つの代替形態間で変化するという証拠はありません。この特定のファミリーメンバーは、酸性線維芽細胞増殖因子に優先的に結合し、その具体的な機能は不明ですが、婦人科腫瘍サンプルで過剰発現していることから、乳がんおよび卵巣がんの形成に関与していることが示唆されています。

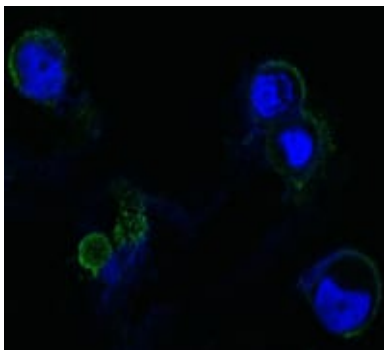
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

画像データ



ヒト FGFR4 の細胞外ドメイン (aa22-369) に対する FGFR4 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



FGFR4 マウス mAb (緑) を用いた FGFR4-hIgGfc を導入したメタノール固定 HEK293 細胞の共焦点免疫蛍光染色。膜局在を示す。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。